

プラズマローゲン Plus

よくある Q & A

Q1 何を原料としているのですか？

A1 国内産の鶏ムネ肉より特許製法で抽出したプラズマローゲン、他にビタミンEを配合しています。

Q2 プラズマローゲンとは何ですか？

A2 抗酸化作用を持つリン脂質で、哺乳動物すべての組織に含まれます。認知機能における重要な役割を果たしていることが、研究によって分かっています。

Q3 多く摂取した方が効果的ですか？

A3 多く摂取しても有害ではありませんが、多く摂取するよりも長い期間摂取をしていた方が効果的をおすすめいたします。

Q4 薬と一緒に飲んでも良いですか？

A4 健康食品なので特に問題はありませんが、ご不安な場合は医師または薬剤師にご相談ください。

Q5 いつ飲むのが良いですか？

A5 特に決まりはありませんが、朝食・夕食前（空腹時）をおすすめしております。

届出番号 C268

届出表示

本品には鶏由来プラズマローゲンが含まれます。鶏由来プラズマローゲンには健康な中高年の方の加齢に伴い低下する認知機能の一部である、言葉、位置情報、状況などの情報の記憶力を維持する機能があります。

【1日摂取目安量】2粒

摂取方法：1日2粒を目安に水またはぬるま湯などでお召し上がりください。

| | |
|------|--|
| 名称 | 鶏ムネ肉抽出物含有加工食品 |
| 原材料名 | ビタミンE含有植物油、鶏ムネ肉抽出物（鶏肉・卵を含む）/ゼラチン（豚由来）、酸化防止剤（α-トコフェロール）、グリセリン、安定剤（ペクチン） |
| 内容量 | 8.1g[1粒重量270mg×30粒] |

| | |
|------------------------|----------|
| 栄養成分表示 2粒（0.54g）あたり | |
| エネルギー | 3.41kcal |
| たんぱく質 | 0.17g |
| 脂質 | 0.28g |
| 炭水化物 | 0.06g |
| 食塩相当量 | 0.0006g |
| ビタミンE | 139.86mg |

機能性関与成分
鶏由来プラズマローゲン 1.0mg

【発売元】株式会社マリーヌ
香川県高松市六条町842-1

【お客様窓口】087-868-5515
受付時間：平日9時～18時

MADE IN JAPAN
定価 9,800 円(税別)

取扱店

明治物産株式会社

〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-4
高田ビル2階
TEL: 03-3666-2511
FAX: 03-3661-4747
<http://www.meijibussan.co.jp>

プラズマローゲンPlus

機能性表示食品
認知機能の一部（記憶力）を維持する
臨床試験済み

世界初
特許9件
取得

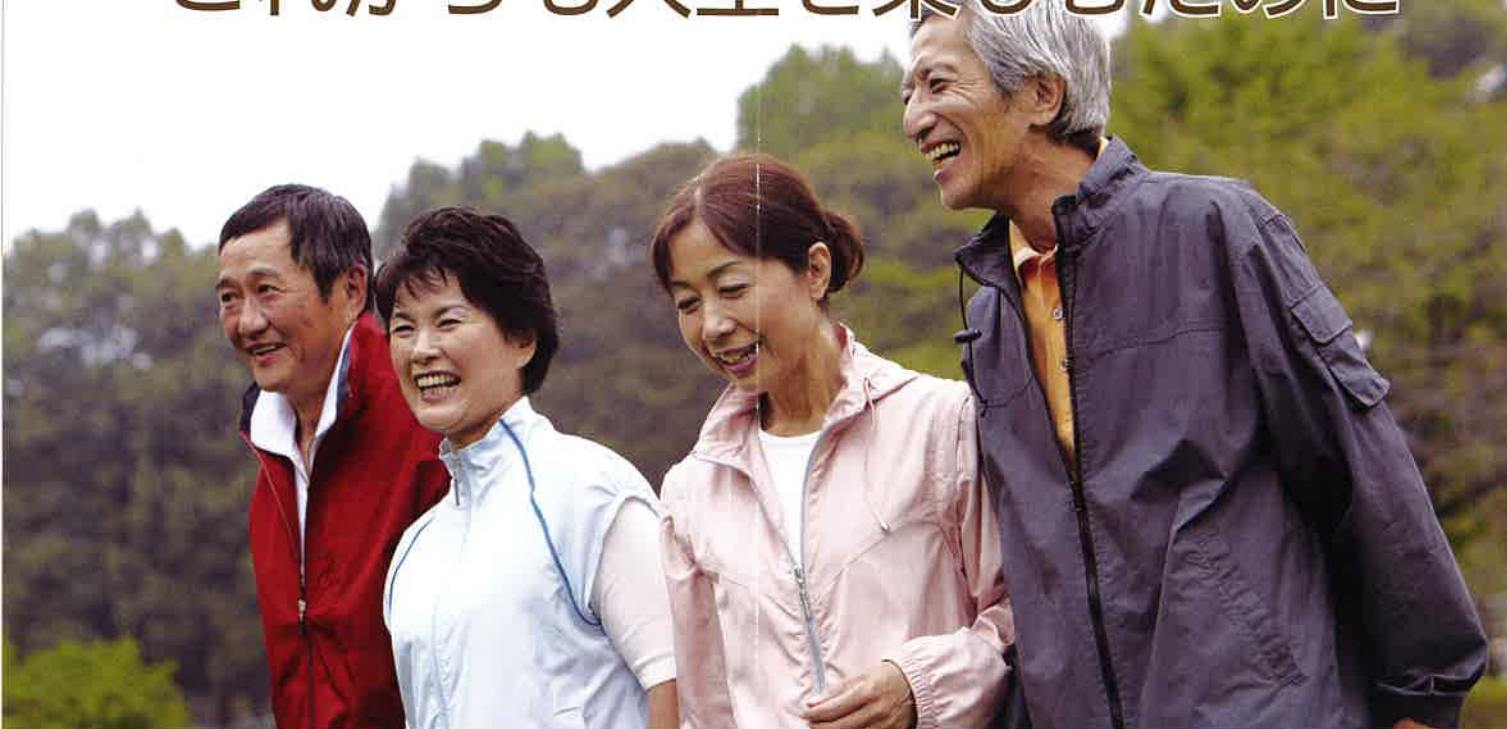
特許第 5062873 号 特許第 5185539 号
特許第 5357005 号 特許第 5430566 号
特許第 5656640 号 特許第 5847086 号
特許第 5774816 号 特許第 6016363 号
特許第 6025568 号

※日本・韓国・アメリカにおいて世界初で初めて特許を申請・取得しています。



MARRIENE Co.,Ltd

ご自身、ご家族の 記憶力を維持して これからも人生を楽しむために...



『プラズマローゲン Plus』は臨床試験済み 届出番号：C268

認知機能の一部(記憶力)を維持するプラズマローゲンは認知機能における重要な役割を果たしていることが、様々な研究で分かって来ました。体内で生成される成分ですが、ストレスや加齢により減ってしまいます。プラズマローゲンは酸化しやすく熱にも弱いので、食事から摂取することは難しいです。

【機能性関与成分】鶏由来プラズマローゲン 1日摂取目安量：2粒(1mg)

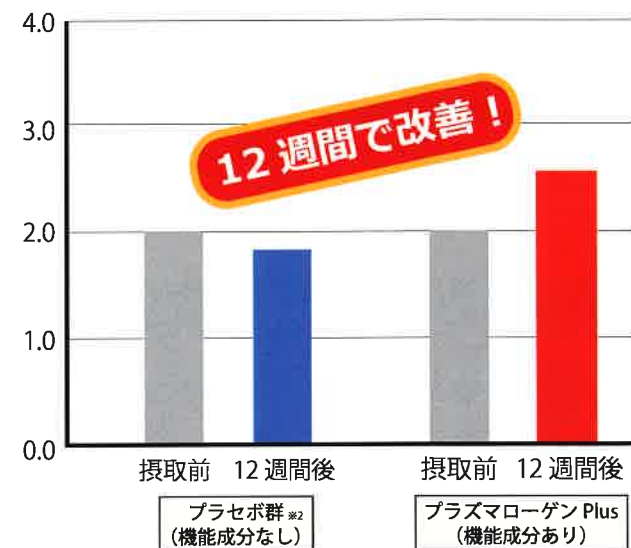
鶏由来プラズマローゲンは、貝類を原料としたプラズマローゲンに比べ、体内に効率よく多量に取り込まれます。プラズマローゲンにはコリン型とエタノールアミン型があり、鶏由来プラズマローゲンはコリン型が多く、貝類を原料としたプラズマローゲンはエタノールアミン型を多く含んでいます。

小腸でほぼ100%取り込まれるのは、コリン型プラズマローゲンになるため、「プラズマローゲン Plus」には鶏由来プラズマローゲンを採用しています。

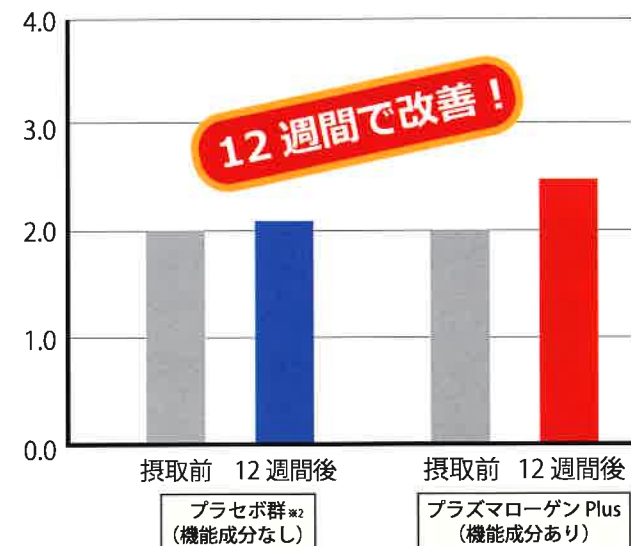
「記憶力の維持」について

プラズマローゲン Plus (機能性成分：鶏由来プラズマローゲン)
摂取 12 週間後の臨床試験結果

物がいつもの場所がないとき見つけることができるか？



時間や場所の感覚が不確かになり、
約束事を間違えるようになったか？



※1 認知機能に関する主観的指標による試験は、被験者から質問票への回答を得る形式で行われました。26項目の質問の各回答を0から4の5段階で評価しています。評価2を真ん中の尺度とし、スタートは2と決定、6週後、12週後の回答を評価しました。

※2 被験者の思い込みによる影響を排除するために、試験食の代わりに色・重さ・味・匂いなど物理的特性を試験食と区別がつかないものを摂取させたグループ。試験結果が試験食によるものなのかを明らかにするために用いられます。